

岳陽新聞

12月21日 水曜日
2016年(平成28年)

発行所 岳陽新聞社
〒418-0002 富士宮市中原町7番地
☎(0544)24-9050 FAX(0544)24-9007
購読料 1ヵ月630円 1部売り 50円

フロハングラス・住宅設備・太陽光発電システム
高圧ガス・防災機器・環境機器

オブリック株式会社
富士宮市田中町543番地
TEL.0544-24-2211
FAX.0544-23-0248 http://www.obrick.co.jp



話題集め 1位「富士山」 2位「浅間大社」

キングで選ばれる

「ベスト10」のポットを紹介した「真実100」で、富士山が第1位に選ばれ、全国の神社を紹介した「あなたの願いをかなえる日本の神社208」でベスト1位に「富士山本宮浅間大社」が選ばれた。初詣を前に富士山と浅間大社が占い・旅行誌・ムック企画誌などで編集者が選ぶパワースポット

1位に選ばれ、全国の神社を紹介した「あなたの願いをかなえる日本の神社208」でベスト1位に「富士山本宮浅間大社」が選ばれた。初詣を前に富士山と浅間大社が占い・旅行誌・ムック企画誌などで編集者が選ぶパワースポット

「美貌の女神様が主祭神、内面も外面も磨ける」「数あるご利益の中でも

「美貌の女神様が主祭神、内面も外面も磨ける」「数あるご利益の中でも

「美貌の女神様が主祭神、内面も外面も磨ける」「数あるご利益の中でも

CD『身延線鉄道唱歌』が完成

CD『身延線鉄道唱歌』が完成



富士宮女声合唱団・ボーカロイド・ソロ歌手(元車掌のナレーション入り)の3つの音源で収録

完成、身延線活性化の願いを広げる「歌」による多角的なまちおこし事業がスタートする。

「身延線鉄道唱歌」は、「汽笛一声新橋を」の「鉄道唱歌」のメロディに乗せて、富士駅から甲府駅まで身延線の各駅と沿線の風景を盛り込んだ詩を歌った曲で、作詞は山梨県南都町出身で富士市在住の小澤馨さん(91)が行なったもので、時代の流れの中で埋もれかかっていたこの歌を知った「大岩3区まちづくりプロジェクト」(まちづくり団体)が平成28年度富士宮市NPO等市民活動事業に応募して採択され、市教委など多くの人が歌詞推敲(歌詞の採録推敲)に協力、関係者や協力者による「歌詞推敲・身延線鉄道唱歌の会」を組織して身延線活性化にCD『身延線鉄道唱歌』を活用することとしている。

「身延線鉄道唱歌の会」の櫻井守会長(元富士宮駅長)は「この歌が多くの人に歌い継がれて、ひいては身延線活性化につながっていくことを願っている」と語っている。

「身延線鉄道唱歌の会」の櫻井守会長(元富士宮駅長)は「この歌が多くの人に歌い継がれて、ひいては身延線活性化につながっていくことを願っている」と語っている。

「汽笛一声、富士駅を」で始まり、富士宮市内の各駅を織り込んだ「身延線鉄道唱歌」のCDがこのほど

「身延線鉄道唱歌の会」の櫻井守会長(元富士宮駅長)は「この歌が多くの人に歌い継がれて、ひいては身延線活性化につながっていくことを願っている」と語っている。

「身延線鉄道唱歌の会」の櫻井守会長(元富士宮駅長)は「この歌が多くの人に歌い継がれて、ひいては身延線活性化につながっていくことを願っている」と語っている。

「身延線鉄道唱歌の会」の櫻井守会長(元富士宮駅長)は「この歌が多くの人に歌い継がれて、ひいては身延線活性化につながっていくことを願っている」と語っている。

「身延線鉄道唱歌の会」の櫻井守会長(元富士宮駅長)は「この歌が多くの人に歌い継がれて、ひいては身延線活性化につながっていくことを願っている」と語っている。

身延線のにぎわい再生、沿線各市町の「歌」によるまちおこしへの願いを広げ

完成、身延線活性化の願いを広げる「歌」による多角的なまちおこし事業がスタートする。

「身延線鉄道唱歌」は、「汽笛一声新橋を」の「鉄道唱歌」のメロディに乗せて、富士駅から甲府駅まで身延線の各駅と沿線の風景を盛り込んだ詩を歌った曲で、作詞は山梨県南都町出身で富士市在住の小澤馨さん(91)が行なったもので、時代の流れの中で埋もれかかっていたこの歌を知った「大岩3区まちづくりプロジェクト」(まちづくり団体)が平成28年度富士宮市NPO等市民活動事業に応募して採択され、市教委など多くの人が歌詞推敲(歌詞の採録推敲)に協力、関係者や協力者による「歌詞推敲・身延線鉄道唱歌の会」を組織して身延線活性化にCD『身延線鉄道唱歌』を活用することとしている。

「身延線鉄道唱歌の会」の櫻井守会長(元富士宮駅長)は「この歌が多くの人に歌い継がれて、ひいては身延線活性化につながっていくことを願っている」と語っている。

「身延線鉄道唱歌の会」の櫻井守会長(元富士宮駅長)は「この歌が多くの人に歌い継がれて、ひいては身延線活性化につながっていくことを願っている」と語っている。

お知らせ

「冬至」
◆きょう21日は二十四節気の起点「冬至」です。太陰太陽暦の時代には、暦の計算の起算点としてもっとも重視されました。
短く冬至の前後には、世界各地で太陽の蘇りをことほぐ様々な古くからの行事がありました。クリスマスも冬至に深くかかわる行事で、イエス・キリストの誕生日とされるクリスマス・イエスの誕生日ははっきりしていなかったが、ローマ教会が12月25日に定めたのは、この日がちょうどヨーロッパの冬至祭の頃で、救世主の誕生が太陽の復活と結びついたものと考えられます。
中国では冬至節として祝う風習があり、太陽がよみがえる「一陽来復」の日とされてきました。太陽運行の起点と考え暦の始まりとしていたことから、暦の起点の冬至に天を祭ることは歴代の皇帝にとって最も重要な儀式でした。
皇帝、すなわち天子は天命として天の動きを司る能力を持つ者とされ、曆づくりは天子が天子たることを人民や周辺の隣国に示す必要がありました。中華と隣国の関係を「冊封」という言葉で表すことがあります。
冊は本を意味し暦の本で、例年、中華の周辺国家は冬至便と称する一行に貢ぎ物を持たせて、天子のところに届かせました。そして天子の謁見がかなうと貢ぎ物の返礼として、それにまさる下賜物と冊(暦の本)を受け取って国に持ち帰りました。
◆古代中国の年中行事をまとめた最古の書物「荆楚歲時記」には「冬至の日、日の影を量り、赤豆粥を作り

は以後、日本響を及ぼして冬至粥の慣習として死んで疫鬼とわがったので炊いて厄を払います。
太陽が育まれる太陽の生命力を養い、冬至の小子湯だったとよっては、南くともあります入りの団子汁る冬に備えてる粟飯の風習◆北半球では空を通り、南夜が一番長く冬から立春前真ん中に当たくなりです。
冬至はもうすぐ、この日、喜びの日で、た柚子を浮かすが伝わって、「邪気を払う風習はかな戸の町の年中、都歳時記」の湯風呂屋にて江戸の銭湯で、沸かしました。柚子湯などはれる精油の効をひかないと太古の昔から